

公同礼拝

2024年3月10日(日) 午前10時30分

午後4時

司式 牧師 高橋和人

奏楽 市橋佳子 本多友子

前 奏

招 詞 詩 編 102編2～3節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 22編2節 (旧852)

使徒言行録 7章44～60節(新226)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 138

説 教 「ステファノの殉教」

牧師 姜 徑米

祈 禱

讃 美 歌 2編185

献 金

頌 栄 539

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

礼拝は前の方から静かに着席しましょう。

3月の祈り

レント(受難節)の期間にあつて、主の御受難の持つ恵みが意識され、罪の贖いと悔い改めの信仰の歩みが整えられるように。

イースターを覚え、復活の主を仰ぎ、礼拝と信仰の生活を確かなものにする事ができるように。

教会総会が主の御心に導かれるように。

高齢や体調などにより礼拝に集うことがかなわないでいる兄弟姉妹たちを覚えて。

震災の地の教会と人々を覚えて。戦争と紛争の地に平和がもたらされるように。

今日の祈り

主イエスの十字架の受難と死を思い、贖いによる救いの信仰を確かめて行く事ができるように。説教が正しく聞かれ、福音に歩む歩みが力づけられるように。

震災によって弱り痛みを抱えている教会と人々が支えられるように。

新たな歩みに向かう若い人々が守られ、その一步一步に主が伴い祝されるように。

「ステファノの殉教」 姜 徑米

使徒言行録7章44～60節

神様はどこにおられるのでしょうか。どこで神様とお会いすることができるのでしょうか。教会において、礼拝において神様にお会いする、そこに神様がいて下さる、それが私たちの信仰です。しかし、教会に神様がおられるとはどういうことなのでしょう。この礼拝堂のどこかに神様がおられる場所があるのでしょうか。

聖書の教える信仰、教会の信仰は、ここに神様がおられるという考え方をしません。だから拝む像も

置きません。このどこかに神様がおられるわけではありません。私たちの信仰は、神様がある特定の場所や建物におられ、そこに行けば神様にお会いすることができるということを否定します。そのことを力強く語ったのが、ステファノだったのです。ステファノの主張の中心は48節です。

イスラエルの民は、荒れ野での生活において、神様から、出発せよとの示しを受けると幕屋を分解し、それを担いで出発し、神様からここで止まれという示しを受けるとその場所で幕屋を組み立て、そこで礼拝をしました。このように証しの幕屋は、特定の場所ではなく、旅路の途上ので、どこでも神様とお会いし、礼拝をするためのもの、そのために持ち運ばれたものです。神様は、その留まる所でその都度その都度礼拝をささげる、そこでご自分の民と出会おうとしておられるのです。

イスラエルは、先祖アブラハムがそうだったように、神様の約束のみ言葉によって旅立ち、その約束のみ言葉を携えて歩み、そのみ言葉に基づいて礼拝をし、そこで神様とお会いしたのです。「証し」とは、神様のみ言葉の証しです。「証しの幕屋」の礼拝は、み言葉による礼拝を意味しているのです。神様の約束のみ言葉に基づく礼拝が、神様にお会いする場、神様がおられる所です。

教会の礼拝は、主イエス・キリストがそこにおいて下さる礼拝です。主イエス・キリストは私たちのために、私たちの罪を背負って十字架にかかって死んで下さり、そして復活されました。この主イエス・キリストがそこにおいて下さり、み言葉を語りかけて下さる、その礼拝において、救いの恵みの中を歩ませて下さる神様との出会いと交わりを与えられているのです。